

絵本の世界に夢中の子どもたち



クリスマスはわくわくがいっぱい

◎クリスマスおはなし会

「クリスマスおはなし会」は12月13日、中央公民館・図書室で行われました。この日は、クリスマスリースづくりやクリスマスをテーマにした絵本の読み聞かせなどが行われ、会場内はクリスマスムード一色。参加した親子らは、幻想的なクリスマスの世界を堪能していました。

また、毎年恒例となった鬼北町のゆるキャラ「ぎじの助」がサンタに扮して登場。子どもたちにはプレゼントを手渡ししたり、一緒に記念撮影をしたりと、「ぎじの助」との交流が参加した子どもたちにとって一足早いクリスマスプレゼントになったようでした。

笑顔で表彰状を受け取る河添さん



いつまでも健康な歯を…

◎平成26年度元気歯つつコンクール

12月9日、広見保健センターで「平成26年度元気歯つつコンクール」の表彰式が行われ、当町から河添基子さん「近永」が入賞されました。

これは、8020運動推進のひとつとして、80歳以上で健康な自分の歯を20本以上保持している方を対象に、毎年県が行っているもので、長年にわたる口腔ケアが評価されての今回の受賞となりました。

河添さんは、「このような賞をいただき、とても感謝している」と、その喜びを満面の笑みを浮かべて語っていました。

相談員の委嘱を受けた鈴村さん



自衛官志願者を力強くサポート

◎自衛官募集相談員委嘱状交付式

12月17日、鬼北町町長室で自衛官募集相談員の委嘱状交付式が行われ、町と自衛隊関係者らが出席しました。

自衛官募集の際に志願者の相談に応じ、自衛隊に関する情報を提供するなど、地元と自衛隊とのパイプ役としての役割を担うこととなる本相談員。式では、今回委嘱を受けた、鈴村理八さん「清水」、竹田幸男さん「奈良」、長尾一正さん「下鍵山」の3人に委嘱状が手渡されました。

また、天本博文自衛隊愛媛地方協力本部長や甲岡秀文鬼北町長が、今後の3人の活躍に対し激励の言葉を送りました。

「ぎじの助鬼バーガー」を調理中



地元産食材で、心も体も健康に

◎鬼北産が最高！えひめの食育応援団

南予食育イベントキャラバン「鬼北産が最高！えひめの食育応援団」は12月13日、広見体育センターで開催されました。

当日は、親子7組が鬼北町生活研究協議会の指導のもと、きじ鍋づくりに挑戦。また、学校法人河原学園高等専修学校講師であり、料理研究家の近藤一樹さんが考案したきじ料理の新レシピ「ぎじの助鬼バーガー」が披露され、来場者らに振る舞われました。

そのほか、スポーツ栄養士の大田美香さんによる講座なども行われ、参加者らはクイズや実習を通して「食」の大切さを体感していました。